

ア ト リ エ
訪 問

第 11 回

安藤忠雄

建築家

「大阪に育てられた建築家」と、自身を語る安藤忠雄。
元プロボクサーで、独学で建築を学ぶという異色の経歴をもつ。
そんな建築界の異端児を、大阪の人たちはおもしろがり、
無名時代から仕事を依頼して、世界へ羽ばたかせた。
彼は今日も、大阪から世界をにらみ、建築の新しい可能性を発信し続ける。

撮影 伊東俊介

大阪・梅田からほど近い住宅街に、コンクリート打放しの美しいアトリエがある。安藤忠雄建築研究所。ここで、建築家・安藤忠雄は、総勢25名のスタッフと、世界中から舞い込む案件に日々格闘している。吹き抜け5階建ての所内には、スタッフに指示をする、彼の威勢のよい声が響き渡る。

——このアトリエは、いつ建てられたのですか。

安藤 ここは、もともと住宅として設計した建物なんです。1973年、まだ建築家として駆け出しの頃に、

友人の依頼を受けて手がけた、私の処女作です。

五軒長屋の一棟を建て替えて家をつくってほしいという依頼だったのですが、これが実に難題でした。長屋は梁や基礎部分がすべてつながっているから、一部を切り離せば、隣りが傾くかもしれない。スタートとしては絶望的な状況です。着工前、いろんな人から「傾いて倒れたらどうするんだ」と心配されました。

でも、当時の私は「倒れたら倒れたときだ」と思っていました。若かったんでしょう、失敗が怖くなかったんです。それを引き受ける覚悟も

ありました。

——なぜそう思えたのでしょうか。

安藤 10代後半で出会った、具体美術協会(※1)の若い芸術家たちの影響だったのかもしれませんが。彼らは先が見えない中で、自由に、そしてエネルギーに自分の表現をしていて、私は衝撃を受けました。芸術には自由がある——そう感じました。と同時に、自由に生きるには、相当の覚悟が必要であるということも彼らから教わりました。

——そのように覚悟してつくられた住宅を、後に安藤さんがアトリエとして使われることになるんですね。

「芸術には自由がある。 しかし、その自由には覚悟がいる。」



1階から5階までが吹き抜けになっており、上部は全面トッブライト。建物の奥まで自然光が照らす。



吹き抜けの「底」に安藤さんのデスクがある。ここから叫べば、各フロアにいるスタッフへ声が届く。



安藤さんが元プロボクサーだというのは有名な話。所内のあちこちにグローブが飾られている。



写真家・杉本博司氏の作品。「建築家の脳裏に『光の教会』が生まれた瞬間」をイメージしているそうだ。

安藤 しばらくして、依頼主から「双子が生まれて手狭になってしまった」と相談を受けました。そこで、私が買い取り、仕事場として使うことにしたんです。

住宅として設計したから、やはりアトリエとしては使いにくい。それに事務所の規模も徐々に大きくなっていったので、何度も改修・増築を重ね、1991年にはすべて取り壊し、新たに設計してつくり直しました。

自分のアトリエですから、建築の可能性を探るために、ここではさまざまなことを試しましたよ。どこまで自由につくれるか実験したいと思って。自分のお金で設計のトレーニングをしたようなものです(笑)。——安藤さんが建築家としてのキャリアをスタートされてから、もうすぐ50年になります。今年9月には、その仕事を振り返る大規模な個展(※2)を開催されるそうですね。

安藤 展覧会では、「光の教会」(※3)を、美術館の野外展示場に原寸大で再現します。コンクリートで建てるんですよ。すごいでしょ。

1989年につくった実際の「光の教会」は、十字のスリット窓の部分にガラスが入っているのですが、今回の展示ではガラスを入れません。ガ

ラスがないほうが光や風が入り、祈りを捧げる人たちの気持ちか、一つになると思うんです。当時、クライアントにもそう提案したのですが、猛反対にあってしまいました。あれからずっと心に引っかかっていたのが、30年越しにようやく実現するわけです。

この展覧会は若い人に見てもらいたいと思っています。「20歳以上は入場お断りの日」をつくらうかと話しているぐらいなんです(笑)。次の時代をつくっていく子どもたちが私の仕事を見て、何か感じてくれたら、こんなにうれしいことはありません。ぜひ遊びにきてください。

あんどう・ただお

1941年大阪府生まれ。独学で建築を学び、69年に安藤忠雄建築研究所を設立。79年に「住吉の長屋」で日本建築学会賞、93年日本芸術院賞、95年プリツカー賞、2005年国際建築家連合(UIA)ゴールドメダルなど受賞多数。10年文化勲章を受章。11年東日本大震災遺児のための育英資金「桃・柿育英会」を設立。支援を続けている。

※1 具体美術協会

画家・吉原治良を中心に1954年に兵庫県芦屋市で結成された前衛美術集団。パフォーマンスやインスタレーションなど、先鋭的な活動を行った。

※2 「安藤忠雄展—挑戦—(仮題)」

国立新美術館(東京都港区)の開館10周年を記念して開催される過去最大規模の展覧会。会期は2017年9月27日(水)～12月18日(月)。

※3 光の教会

大阪府茨木市にある教会。極限まで削ぎ落とされたシンプルな構造の建築。コンクリートの壁に切り込まれたスリットからは十字架型の光が差し込む。